

# 東日本大震災から10年 ～復興の教訓と未来への展望

日時 令和3年 **1月21日(木)** 13:00~17:00

場所 **オンライン開催 (YouTubeライブ配信)**  
※東北大学川内萩ホール (宮城県仙台市青葉区川内40) より配信予定

参加方法 **無料、事前申込**

阪神・淡路大震災から生まれた災害対処のシンクタンク「ひょうご震災記念21世紀研究機構」、東日本大震災の被災地で地震・津波等に関する自然災害科学研究を推進する「東北大学災害科学国際研究所」、戦前戦後を通じて防災報道を重視してきた「朝日新聞社」は、大規模災害への事前の備えや減災・復興に関する研究成果を広く発信し、人々の防災意識を高め安全・安心な減災社会の実現をめざすため、共同でシンポジウムを開催してきました。

このたび、東日本大震災から10年を迎える東北の被災地にて、東北地方の報道機関「河北新報社」とも連携し、復興はどこまで成し遂げられたのか、残された課題にどのように取り組むべきか、さらには東日本大震災の経験や教訓を次なる巨大災害への備えや復興にどのように活かすべきか、などについて考えます。

当シンポジウムはオンライン開催とし、YouTubeでライブ配信します。ぜひご視聴ください。

写真提供：東松島市



写真提供：仙台市



## プログラム

あいさつ等 13:00~13:15

基調講演Ⅰ 13:15~13:55



「国土の復旧から暮らしの再建へ  
—政策の転換とその成果—

おかもと まさかつ  
**岡本 全勝**

復興庁顧問 (元復興庁事務次官)

基調講演Ⅱ 13:55~14:35



「『災後』10年に見る『復興』日本  
—東日本大震災とは?—

みくりや たかし  
**御厨 貴**

ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター長/  
東京大学名誉教授



パネルディスカッション 14:50~16:30

## 「東日本大震災の教訓と未来への展望－あるべき復興社会像の実現に向けて」

コーディネーター



いたばし けいこ  
**板橋 恵子**

エフエム仙台防災・減災プロデューサー

パネリスト



とば ぶとし  
**戸羽 太**

岩手県陸前高田市市長



**マリ・エリザベス**

東北大学災害科学国際研究所  
准教授



みたらい たまこ  
**御手洗 瑞子**

株式会社気仙沼ニッティング  
代表取締役



いしばし ひであき  
**石橋 英昭**

朝日新聞社仙台総局編集委員

総括 16:30~17:00



いおきべ まこと  
**五百旗頭 真**

ひょうご震災記念21世紀研究機構  
理事長／兵庫県立大学理事長



いまむら ふみひこ  
**今村 文彦**

東北大学災害科学国際研究所  
所長・教授



たんの あやこ  
**丹野 綾子**

河北新報社防災・教育室記者

## お申し込み・お問い合わせ

(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6F  
TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122 E-mail:gakujutsu@dri.ne.jp

### ■お申し込み方法 (期限: 1月18日 (月) まで)

下記ホームページからお申し込みください。

※お申し込みいただいた方には、後日視聴方法を事務局よりご連絡いたします。

※入力いただいた個人情報等は、事務局で適正に管理し、ご案内に関してのみ使用いたします。

申込URL: <https://www.hemri21.jp/>

主催: 朝日新聞社、河北新報社、東北大学災害科学国際研究所、  
ひょうご震災記念21世紀研究機構

後援: 内閣府政策統括官(防災担当)、復興庁、総務省消防庁、岩手県、宮城県、  
福島県、仙台市、兵庫県、関西広域連合、KHB 東日本放送